

役わりを考えながら話し合おう

日 時 令和3年9月30日（木）公開授業②
児 童 男子8名 女子7名 15名
指導者 庭野 貴之

1 単元の構想

<児童の実態>

- ・授業や学級会では、司会者の進行にそって、話し合い活動を進めることができています。
- ・話題について意見を考えたり、発言したりしている。

<単元について>◎中心教材

◎「学校についてしょうかいすることを考えよう」（東京書籍 新しい国語 四上）

本単元は、「話すこと・聞くこと」において「話し合う」ことについて学習する系統の単元として位置付けられている。本教材は、少人数で話し合う場から学級全体で話し合う場へと話し合いの場を広げることで、話し合いにおける様々な役割についての認識を深め、話題に沿って話し合う力を付けることに適した教材であると言える。そこで、本単元では、学校について地域の保育所の年長児に紹介する内容を考えるという議題を設定し、話し合いを進めていく。話し合いの人数が増えてくると出てくる意見も多種多様となる。そこで、議題を全体で共有した後に、テーマごとに少人数での話し合いを行い、その後、多人数で話し合うことで、効率よく議題の解決が図ることができると考える。

本単元では、テーマを複数決め、クラス全体の話し合いを役割を変えながら繰り返し行うことで、役割を自覚しながら話し合い、結論をまとめる力を付けることを目指す。

付けたい力

自分の役割を考えながら話し合う力

単元に位置付ける言語活動

学校について保育所に紹介する内容を話し合う。

2 研究の柱にかかわって

研究の柱1 ②学習の成果が見える振り返り

子どもたちが本単元の学習の成果について、視点に沿って振り返ることができるように、ICT機器を活用する。それぞれの役割がうまくいくためのポイントを実践できているか確かめるために自分たちの話し合いの様子を客観的に見る場面を作る。そうすることで、次の話し合いへの課題が明確になり、より目的意識をもてるようになると思う。

研究の柱2 ①思考の共有・可視化を図った学習活動

本単元では、学校について来年度入学する保育所の年長児に紹介する内容を話し合うという言語活動を行う。今まで学級活動等で話し合い活動を行ってきたが、話し合っている中で話し合いの内容がそれてしまったり、まとめることに苦労したりしている経験がある。そこで、これまでの経験を振り返り、話し合いでうまくいかなかった理由を考え、学級全体の問題点として整理・分類・掲示をし、本単元のめあてを共有する。そして、問題点を解決するために司会者、発表者、書記、参加者、記録者の役割について学習し、4回の実践をしてみる。その際、それぞれの役割を果たすために必要な言葉を掲示し、いつでも確認ができるようにしておく。書記や記録者の役割は話し合いの内容を振り返る際に、特に大切な役割となる。意見を分けて書くときに色を分けて書いたり、板書の構成を指導したり、声掛けをしながら支援をしていく。

3 単元の学習計画

(1) 単元の指導目標

- ①相手を見て話したり聞いたりすることができる。 [知識及び技能] (1) イ
- ②目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。 [思考力、判断力、表現力等] A (1) ア
- ③目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。 [思考力、判断力、表現力等] A (1) オ
- ④言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①相手を見て話したり聞いたりしている。(1) イ	①「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。A (1) ア ②「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。A (1) オ	①進んで、目的を意識して役割を果たしながら、学習の見通しをもってグループや学級全体で話し合おうとしている。

(3) 単元の指導と評価の計画 (6時間)

時	主な学習活動	指導の手立て	評価規準 (評価方法)
1	○これまでの話し合いの経験を振り返り、単元の見通しを立てる。 ・これまでの話し合い活動や児童総会の様子から良かった点やうまくいかなかった点を振り返る。 ・教科書の話し合いの様子から問題点を見付け、自分たちの話し合いと比べる。 ・学級全体の話し合いを行うためには、役割が必要であることを知る。	・教科書の話し合いの様子を黒板に掲示し、問題点を見付けるように指示をする。 ・見付けた問題点を自分ごととしてとらえられるように計画的に板書を行う。	

	・議題について知る。	・今回の議題は「入学する子たちに、学校のどんなところを紹介したいのか。」であることを伝える。 ・身近な人への紹介したいことを議題にすることで、意欲を高める。	
2	○議題と目的を確かめ、紹介するテーマごとにグループを作る。 ・全体の話し合いの議題と目的を確認し、話し合いに向けての流れをおさえる。 ・紹介するテーマを4つに絞る。 ・グループにテーマを割り振り、提案することをまとめる。	・児童総会に向けての話し合いの流れを確認し、全体の話し合いに向けての流れを確認する。 ・紹介するテーマを提示する。 例：場所、人、行事、遊ぶところ、教科 ・グループでの話し合いの流れを確認する。 ・全体の話し合いで提案する代表者を決めておくことを伝える。	【思・判・表①】 選んだテーマについて自分の意見をもっているか確認する。（ノート、発言）
3	○学級全体の話し合いの役割を確認しながら、テーマごとに話し合いを行う。 ・学級全体の話し合いの役割を確認し、分担をする。 ・話し合いの流れを確認する。 ・それぞれの役割を考えながら話し合う。 ・1回目の話し合いを行う。 ・1回目の話し合いを振り返り、改善点を明らかにする。	・どのグループも司会ができるように話し合いを4回設定する。 ・話し合いごとにテーマを変更する。 ・4グループのうち1つは司会グループ、2つは発表グループ、1つは参加グループとなるように役割を分担する。 ・来年の入学が楽しみな気持ちになってもらうために紹介する内容を話し合うことを確認する。 ・司会者が円滑に話し合いを進められるように話型を提示する。 ・発表するグループは、紹介したい理由を付けて話すように促す。 ・参加者は、共通点や相違点に気を付けながら聞くように助言する。 ・書記、記録者が書く内容を絞って書けるように記録用紙を工夫したり、困っているときは声を掛け一緒にまとめたりする。 ・全体で役割ごとによかったところや難しかったところについて振り返りをし、次の話し合いでの	【知・技】 相手を見て話したり聞いたりするなど、参加者全体に伝わっているかを注意しながら話しているか確認する。（観察、発言）
4 本時	・2回目の話し合いを行う。 ・2回目の話し合いを振り返る。		【思・判・表②】 それぞれの役割を考えながら話し合いに参加し、学級の意見をまとめようとしているか確認する。（観察、ノート）
5	・3回目の話し合いを行う。 ・3回目の話し合いを振り返る。 ・4回目の話し合いを行う。 ・4回目の話し合いを振り返る。		【主体的】 進んで話し合いの目的を理解して役割を果たしながら、学級全体で話し合おうとしているか確認する。（発言、ノート、観察）

		課題に気付くことができるようにする。 ・別の役割を経験することで、話し合いを円滑に進めるためのポイントに気付くことができるようにする。	
6	○これまでの話し合いを振り返り、学級全体の話し合いにおける役割とそれぞれの留意点をまとめる。 ・学級全体の話し合いを振り返る。 ・役割を考えながら話し合うために、大切だったことをまとめる。	・4回の話し合いの動画を見せ、それぞれの役割で大切なことについて見付けるように促す。 ・今後どういう話し合いをやりたいかを聞き、学習の成果を生かせる場を設ける。	

4 本時の指導（4時間目／全6時間）

（1）目標

1回目の話し合いを振り返り、改善点を明らかにし、役割を果たしながら話し合うことができる。

（2）展開

段階	学習活動	指導上の留意点（・） 評価
つかむ 5分	1 前時の学習を想起する。 ・前回の話し合いの改善点と解決策を振り返り、本時の話し合いで気を付けることや使いたい言葉について確認をする。 2 本時の課題を確認する。 前回の話し合いをもとに、役割に気を付けながら話し合おう。	・気を付けることや使いたい言葉を本時の観点として提示する。 ・前回の話し合いから出た改善点と解決策に気を付けることができるように助言する。
かんがえる ・あ らわす 20分	3 2回目の話し合いを行う。 （1）話し合いの流れと役割を確認する。 ①議題を確かめる。 ②提案する。 ③提案について質問する。 ④話し合う。 ⑤話し合いをまとめる。 （2）前回と違う役割で話し合いを行う。 【使ってほしい言葉】 司会者：ほかに意見はありませんか。 少し時間をとるので、隣の人と話してみてください。 話し合ったことを確かめます。 次の時間は～について話し合います。	・提案するグループは、グループで話し合った内容をもとに、理由をつけて話すように促す。 ・参加者はそれぞれのグループの意見の共通点や相違点に気を付けながら聞くように助言する。

	【使ってほしい言葉】 発表者：紹介したいことは〇つあります。 1つ目は～です。理由は…からです。 参加者：～がいいと思います。理由は… ～と…とを合わせてはどうですか。	【思・判・表②】 それぞれの役割を考えながら話し合い、学級の意見をまとめようとしている。（観察、ノート）
ふりかえる 20分	4 2回目の話し合いの振り返りをする。 （1）2回目の話し合いの動画を見ながら、観点に沿って振り返りを行う。 【振り返りの観点】 ・役割ごとによかったこと ・改善したほうがいいこと （2）次の話し合いに向けて自分の目標を立てる。 5 次時は他のテーマの話し合いを行うことを確認する。	・客観的に振り返りを行うことができるように動画を見ながら行う。 ・自分の役割だけでなく、他の人の役割についても、よくなったところや改善したほうがいいところを考えるように助言する。

（3）評価

おおむね満足できる	努力を要する児童への支援
役割（司会者、発表者、書記、記録者、参加者）を果たしながら話し合い、学級の意見をまとめようとしている。	役割（司会者、発表者、書記、記録者、参加者）を果たすために必要な以下の内容を掲示し、自分で確認できるよう促したり、個別に声掛けをしたりする。 【掲示する内容】 司会者：意見を確かめたり、発言を促したりする。 議題から話がそれないように進める。 発表者：提案する内容を整理し、理由をつけて話す。 質問にははっきり答える。 書記：できるだけ簡潔に黒板に意見をまとめる。 色や記号などを使って分かりやすく整理する。 記録者：発言を記録する。 参加者：出てきた意見の似ているところやよいところを考え、進行に沿って発言する。 他の人の意見を聞き、みんなでよいものにまとめていこうとする気持ちをもつ。